



▲大宮館外観

我々のホーム・グラウンド、歴史民俗資料館をご存知ですか。知っているようで知らない、図書情報館の隣の小さな資料館について、企画展の開催と一緒にご紹介します。

◇資料館はこんな施設

歴史民俗資料館は、地域の歴史や伝統、文化を保存し、後世に伝えることを通して、市民のみなさんに活用してもらうための施設です。

大宮町立大賀小学校の新築に伴い、平成六年四月に旧校舎の一部を利用して大宮町歴史民俗資料館として開館しました。それから十八年間展示・研究・収集・保存のための施

設として機能してきました。こちらに馴染みの深い方も多いようです。現在は「小祝分館」として、校外学習や収蔵庫として使われています。

しかし、小祝は見学者にとって交通の便が悪いので、平成十六年二月に現在の資料館に移転しました。こちらの施設ももとは心身障害者福祉センターだったため、展示するための改装工事を行って開館しました。

現在は平成十六年の市町村合併に伴い、常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館となり、主に歴史分野と自然分野の展示を行っています。県指定文化財の「ささら獅子頭」、市指定文化財の「硬玉製（ヒスイ）大珠」六点、主に大宮地域で出土した考古遺物を、常設展示

の間はいつでも見ることができま
す。また、民具や昔の生活道具など
は山方館で展示しています。

資料館の役割には、これらの展示
業務のほかに文化財の保護活動があ
ります。文化財は文字通り「宝物！」
とわかる貴重な資料から、身近にあ
る普段見慣れた「宝物？」というよ
うな資料まで、様々なものを含みま
す。それらの史料を調査・収集し、
傷みがそれ以上進まないように整理
し保管しています。

日本の文化財は木と紙でできたも
のが多く、保存には注意が必要で
す。民具や文書（明治以降のもので
も）などご自宅や地区でお持ちに
なっている資料、保管にお困りの資
料がありましたら、ゴミと決めずに
是非一度資料館へご相談ください。
価値のないものに見えてもそれは私
たちの祖先が暮らした足跡が息づく
大切な資料です。そしてこの機会
に、指定の有無にかかわらず、地域
の文化財がどのような環境で保管さ
れているか確認していただきたいと
思います。風雨や害虫の危険にさら
されていませんか。防犯・防災の面
から不安がありませんか。失われて
しまえば二度と戻らない資料です。
文化財を未来に伝えていくために共
に考えましょう。

◇企画展を開催します！

資料館では常設展示のほかに年に一
度企画展示を開催しています。今年度
は一月十六日から二月十八日まで、タ
イトルは「常陸大宮市の文化財―スゴ
インダヨ!! ひたちのおおみやのたからも
の―」。五町村が合併したことを記念
して、市内全地域の指定文化財を一堂
に会し、実物や写真・パネル等で展示い
たします。

百聞は一見に如かず：地域の自慢の
逸品をまず市民が認識しましょう。そ
して外に向かって広めてください。

（歴史民俗資料館）



▲過去の企画展の様子